

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2012 No. 27

inaokigakuen news letter



特集

創立80周年記念事業総括 座談会

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

Amitié Seiryō ～星稜の友～

『親業』支援コラム「オトナのミカタ」

総合研究所・地域連携センターだより

星稜 Information

創立80周年記念事業
フラッシュバック
記念式典・星稜音楽祭・星稜教育シンポジウム

稲置学園80周年が、 残してくれたもの。



写真左から 星稜教育シンポジウム実行委員長：村井万寿夫、星稜音楽祭実行委員長：宮崎正史、創立80周年記念事業企画・実行委員長：稲置慎也、80年史編集室委員長：沢田勲、80周年記念事業事務局事務室長：清水実

創立80周年事業を終えて

稲置慎也 記念事業企画・実行委員長（以下、稲置） 稲置学園が創立80周年を迎えた今年も終わりが近づき、数々の周年記念事業も盛況のうちに終了となりました。今回は、「星稜音楽祭」「星稜教育シンポジウム」「80年史の編纂」という三つの記念事業の責任者の方々と記念事業事務局清水室長にお集まりいただき、それぞれの事業を振り返ってみたいと思います。

これまで行われてきた80周年事業全体を通して記念事業事務局から見た感想を聞かせてください。

清水実 記念事業事務局事務室長（以下、清水） これまで学園の周年事業といえば、式典と祝賀会が主でした。もちろん80周年においても式典・祝賀会は開催しましたが、それ以外にこれほど多くの記念事業を実施したことはありません。この80周年に際しては記念委員会を含めて10の委員会が立ち上がり、それぞれに幼稚園から大学まで、すべての設置校からの委員が参加していました。法人事務局が



清水実 80周年記念事業事務局事務室長

中心となつて行つてきた従来とは違い、学園の総力を挙げて実施した記念事業であつたと言えますね。

「星稜音楽祭」で結ばれた、立場も年齢も超えた絆。

稲置 学園を構成するすべての人々、在学生・卒業生・保護者・教職員の絆を強くし、学園としての一体感を高めることは、80周年記念事業全体の大きなテーマでした。その点でひとつ象徴的だと言えるのが、「星稜音楽祭」の実施です。

宮崎正史 星稜音楽祭実行委員長（以下、宮崎） 「星稜音楽祭」は、園児から生徒、大学生までの在学生と卒業生、保護者の方々、また教職員がプロの演奏家・声楽家



宮崎正史 星稜音楽祭実行委員長

とともに舞台上に立つてオペラを演じるという取り組みでした。

今回、舞台監督として演出をしていただいた敷西正道さんが「非常にすばらしい出来だった」と評してくださったように、本番での歌と演技は多くの観客の心を打ちました。

また本番はもちろんですが、そこに至るまで重ねてきた練習も含めて、立場も年齢もバラバラの参加者の皆さんがこのオペラを通して心の結びつきを強めていくてくれたことが、この「星稜音楽祭」の意義を感じさせてくれました。長い練習期間と大舞台の経験によって深められた絆が、舞台のクライマックスで見事に花開いたことに私も感動しました。

稲置 学園の今後を考えたとき、「星稜音楽祭」にはどのような意味があつたとお考えですか？

宮崎 音楽には人と人をつないでくれる力があります。「星稜音楽祭」は、その力を私を含めて学園の皆が実感でき、感動と達成感を共有できた非常にいい機会でした。今回は本格的なおオペラでしたが、規模は小さくともこのような音楽企画を毎年

継続していくことができれば、と考えています。今以上に学園のつながりを強め、拡げていくことが期待できると思います。

教職員に相互理解を、園児・生徒・学生に夢を。星稜教育シンポジウム

稲置 一方の「星稜教育シンポジウム」は、「教育」から学園の連帯感を高めていこうという取り組みでした。

村井万寿夫 星稜教育シンポジウム実行委員長（以下、村井） はい。「星稜教育シンポジウム」は、1日目の「学園教育シンポジウム」と2日目の「国際教育シンポジウム」の二つからなる事業でした。

「学園教育シンポジウム」は、幼稚園・中学高校・短大・大学のそれぞれで「星稜の人間教育」がどのように実行されているかの相互理解を深めることを目的として開催されました。学園の各設置校は建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を共有していますが、幼稚園児から大学院生までの幅広い年代と向きあうそれぞれ



村井万寿夫 星稜教育シンポジウム実行委員長

の設置校でどのような教育施策が展開されているのかまでは、これまで共有されていませんでした。80周年という機会に互いの教育を理解しあい、それぞれの独自性と共通性を見いだそうとする取り組みです。

「国際シンポジウム」は、稲置学園を卒業して現在世界にさまざまな分野で活躍する4名の方をお招きし、中学生・高校生・短大生・大学生に向けて「星稜の教育がいかに役立ったか」を中心にお話をいただきました。お招きしたのは、金沢星稜大学を卒業して米国公認会計士となり上海で活躍している楊煒煒さん、旧金沢経済大学を卒業しタイで活躍する経営者テムラック・チャオさん、星稜高校卒業生で現在はカナダのトロント大学で研究員をしている生命科学者の谷内江望さん、同じく星稜高校の卒業生で地元石川で世界を相手にビジネスを展開している三谷産業社長の饗庭達也さんの4名です。また、司会は旧星稜女子短期大学卒業





生でアナウンサーとして活躍している越村江莉さんをお願いしました。

この二つのシンポジウムを合わせ、すべての設置校の教職員、生徒、学生と卒業生が、あらためて「星稜」の教育の存在意義を再確認する機会となりました。

稲置 両シンポジウムを実施しての反響はいかがでしたか？

村井 「学園教育シンポジウム」は、発起人である金沢星稜大学の坂野学長が「予想以上の成果」と語られた通り、参加した教職員から機運を高められたとの声が多く聞かれました。また「国際シンポジウム」でも、参加した生徒・学生のアンケートから「夢や希望を持って前向きに学ぼう」という積極的な姿勢が多く見られました。

もちろん、これをゴールにするのではなく通過点にしたいという思いがあります。今後もそれぞれの学校で人間教育のあり方について話し合い、それを実践し

てほしいですね。そして、年に一回でもいいから各校が集まって確認しあう場を持てたらと思っています。それが今後の星稜の教育の質の向上につながっていくことでしょう。

これまでの歩みを、
これからに活かす。

80年史の編纂

清水 同じく80年史の編纂も各設置校からの委員が参加し、またその他にも多くの教職員が関与する、学校の枠を超えた事業となりましたね。

沢田勲 80年史編纂室委員長(以下、沢田)

その通りです。年史編纂室のメンバーは委員10名とアドバイザー2名のみ。80年の歴史を記す年史の編集は、とてもこの人数でできる作業ではありません。委員だけではなく多くの教職員の方々の協力を得て完成した今回の年史は、学園全体の成果だと思っています。

稲置 これまでの学園の歩みを残し、後



沢田勲 80年史編纂室委員長



世に伝えていく年史の編纂も非常に重要な事業だと考えてきました。それが20年後、100年史を編纂する際の礎となるからです。

沢田 年史を編纂することには二つの意味があると思います。一つは80年の学園の歩み、歴史を正しく記録し、後世に残すということ。もう一つは、80年間学園の教育理念がどのように実行されてきたか、建学の精神がどういう形で現場に息づいてきたのかを記録して、次の時代へとつなげていくということです。

今回編纂した80年史は400ページの冊子ですが、その内の300ページは近20年の出来事です。さらにその300ページの半分以上がここ10年の出来事で占められています。つまり、最近の20年、特にこの10年が、それ以前の60年に比べて、目を見張る勢いで変化した時代であったということ。先代理事長の60年は「静の学園」、現理事長の20年は「動の

学園」であると表現してもいいでしょう。稲置委員長が100年史のお話をされましたが、これからの20年はさらに激動の時代になることが予想されます。少子化を背景に教育機関にとっては困難が続くこれからの時代、それを乗り越える鍵は過去の知見と経験則にあるはず。今回の80年史は、それを意識して編纂されています。学園の今後に役立てられたら嬉しく思います。

清水 過去10年ごとに年史を発行していますが、今回の年史はそれらのいいところ取りをしたすばらしい年史ができたと思えました。CD-ROM版という新しい試みも行われましたね。さらに、沢田先生を始め委員の方々がご苦労された今回の教訓を活かし、よりスムーズに編纂作業を進めるために各校の刊行物を蓄積して散逸を防ぐ資料室の整備も進められています。

80周年は、 「星稜100年」への ステップ。

稲置 今回の80周年記念事業において特徴的なのは、すべて自分たちの力で実施したという点です。外部から人を招いて講演を行うなどの一時的なイベントではなく、「星稜ファミリー」の力を結集して実現した特別な周年事業であったということに大きな意義があります。

沢田 それが総合学園のよさだと言えるでしょう。互いに連携しながら教育を行っている。80周年は、その絆をより強く、深くしてくれたという印象を持っています。

稲置学園80周年が、 残してくれたもの。



稲置 慎也 創立80周年記念事業企画・実行委員長

清水 80周年を盛大に祝って、それで終わりでは意味がありません。ここで得た学園の連携を、さらに今後に活かしていく時代にはいけません。星稜はこの厳しい時代にあつて、園児・生徒・学生の募集や大学・短期大学部の就職においても高い実績を残していますが、今後はさらに困難な時代になることが考えられます。80周年の機会に再確認した建学の精神を胸に、日々精進していきたいものです。

村井 今回さまざまな周年事業が企画・実行されましたが、総じて、80周年という節目に稲置学園で教育に携わっていることをもう一度自覚する機会となったのではないのでしょうか。「80周年」という大きな企画そのものに意義があったのだと思っています。

宮崎 今各校で行われている取り組みも、ちよつと輪を拡げれば学園全体の取り組みになる可能性もありますね。そういう試みが増えれば、学園の一体感もさらに大きくなるのではないかと思います。

終わりに

稲置慎也 記念事業企画・実行委員長

今回の創立80周年記念事業につきましては、同窓会・学園関係者・保護者の方々をはじめ、本当にたくさんの方々のご協力のもと、全てが成功につながったと思っています。

各事業に携わった教職員の皆さまはもちろん、参加された園児・生徒・学生の皆さまに対しても感謝申し上げます。

また、学園の歴史の中で初めての試みであった「寄附金募集」につきましても、学園関係者から一般の方々に至るまで多くの篤志をいただき、またことに深く感謝しております。

皆さまからいただいた寄附金につきましては、学園各設置校に在籍する園児・生徒・学生が今後とも安心・充実・満足のできる学園生活を送ることができるよう教育環境の改善や就学支援の充実に充てさせていただきます。

今回の創立80周年を機に私自身も精進し、学園のこれからをより一層輝かしいものとすることを約束し、創立80周年記念事業の総括とさせていただきます。

20年後の100周年が「ジャンプ」です。皆さんの力によって成功した80周年ですが、あくまで「星稜100年」へのステップに過ぎません。20年後の100周年も、さらにその先も、我々の教育が価値あるものであるために、今年得た「星稜」という名の強い団結を大切にして、未来を目指していきたいでしょう。

学園創立80周年記念事業 「寄附金募集」について

本学園は、平成24年（2012年）に創立80周年を迎えるにあたり、学園各設置校に在籍する学生・生徒・園児が満足な学園生活を送ることができるよう、更なる教育環境の整備・改善、就学援助の充実、課外活動の支援等に取り組んでいきたいと考えております。これらの取り組みのため、同窓生・保護者・教職員並びに有志の皆さまから広くご寄附を募ることとなり、平成23年2月より寄附金募集を開始いたしました。趣旨にご賛同いただいた多くの皆さまからのご厚意に心より感謝申し上げます。

寄附金事業は平成24年9月まで実施いたしました。

学校法人稲置学園理事長 稲置 美弥子
学園創立80周年記念事業企画・実行委員長
学校法人稲置学園理事 稲置 慎也

寄附者ご芳名（五十音順・敬称略／2012.9.1～2012.11.30受付分）

同窓会
板坂 悟
上森 弘
(株)セルヴィス
田村 茂生

保護者会
青井 久利
川南 浩
久司 登
篠田 時治
瀧田 仁
能田 彰
平野 圭介

宮井 久
米 隆範
米林 英明
若狭 浩幸

一般（個人・法人）
(株)日本エージェンシー
林 靖男

学園役員・職員
大森 重宣
菅野 成也
高村 知美
方 斌
若原 あづさ

■集計表

平成24年11月30日現在

区 分		寄 附 金	
		件 数	金 額
同窓会	1. 大 学	181	15,482,100
	2. 短 大	47	3,370,000
	3. 星 稜	389	14,206,000
	4. 実 践	102	1,617,000
	小 計	719	34,675,100
保護者会	5. 大 学	251	5,997,000
	6. 短 大	35	613,000
	7. 高 校	455	7,490,000
	8. 中 学	45	512,000
	9. 幼稚園	10	70,000
	小 計	796	14,682,000
一 般	10. 個 人	36	615,000
	11. 法人(会社等)	58	16,790,000
	小 計	94	17,405,000
役員・職員	12. 学園役員	13	8,505,000
	13. 専任職員	170	10,415,000
	14. 旧役員・旧職員	25	1,800,000
	小 計	208	20,720,000
合 計		1,817	87,482,100



金沢星稜大学附属星稜幼稚園
本谷由美 教諭

**自分で生きていける。
そんな人を育てたい。**

星稜幼稚園で、現在は満三歳児のクラスを担当しています。幼稚園教諭になって23年が経ちました。最近のこどもを見て感じるのは、小さなこどもであっても人を頼ってしまう子が多くなっているということです。

「できない」と「やろうとしない」ことは違います。たとえば服を着るとき、自分で着ようという姿勢を見せる子がいる一方、最初から「着せて」という待ちの態勢の子もいます。そういう子が、以前に比べて増えているんです。そんな時、大人が手伝ってしまえば簡単です。でも「自分でやってみよう」という気持ちを育てることができません。自分でやろうとする姿を見守り、失敗しても大丈夫と受け止めてあげる

ことが、「自分で生きていける子」を育てることになると思っています。

大人にも、いつも指示待ちの姿勢で、言われないと何も行動できない人がいますよね。そんな人ではなく、「自分の気持ち、言葉、行動」をちゃんと持っている大人になってほしいんです。だから、幼少期に挑戦した経験、たとえ失敗したとしても行動したことを褒められた経験を与えてあげたいと考えています。

今、主に見ているのは満

「ちゃんとする」より、「失敗しよう」。



こどもにとって集団生活は成長の場であると同時にストレス。だからお家ではしっかりとその子を見てあげてください。

三歳児なので、できないことがほとんどです。でも、「自分でやろう」という気持ちをちよつとずつでも育てることが、その子の将来にとって非常に重要なことだと思っています。

**失敗やイヤな思いが
人を育ててくれる。**

保護者の方々に伝えたいのは、「ぜひ失敗をさせてあげてください」ということです。保護者の方とお話すると、「うちの子はちゃんとしていますか?」と聞かれることがあります。「ちゃんとする」ってどういうことなんだろうと考えます。服を汚したり、友だちとケンカしたりしないことが「ちゃんとする」だとしたら、そんな心配は必要ないのではないかと思います。自分でやってみて失敗することが、人を育てると思うからです。

人との関わり方も同じです。満三歳児は、ここで初めて同じ年代の子と出会います。人と関われば、いい気持ち

のことはかりではありません。イヤな思いをしたり、泣いたり悔しかったりします。でもそういう経験がこどもの心を育てていきます。

この仕事をしていてやりがいを感じるのは、「こどもが立ち直る瞬間」に接した時なんです。ケンカの仲裁をして、一見その子も納得しているように見えても心までは見えません。心の中ではどう思っているんだろうという悩みます。

でも、たとえば別のケンカがあった時に、その子が私の言った言葉を、私に注意されたような口調で相手に言ってくれる時があるんです。「ああ、あの時ちゃんと伝わっていたんだな」と安心して、嬉しくなります。

人間が相手の仕事ですから、経験が長くなっても悩みは尽きません。だからこそ、自分の気持ちが伝わって、その子の成長が見られた時には、またがんばろうと思っています。

自分の信じる保育をちゃんと表現して
人に伝えられるようになりたいと思っています。



ボリューム満点の流星祭! 大学×短大 初共演!

「WA～和・輪～」の創造

今年も10月26日(金)～28日(日)の日程で「第11回流星祭」が盛大に行われました。今年より、大学・短大の合同で開催され、屋台出店数は34店にも上り、過去最大規模の流星祭となりました。

27日は晴天に恵まれ、ステージでは『U字工事』と『ぶんぶんボウル』の爆笑ステージをはじめ、メインイベントの星稜ミス・ミスターコンテストやコスプレ大会、クラブパフォーマンス『よさこいサークル-煌-』の演舞などが行われ、大きな盛り上がりを見せました。

28日は生憎の天候となりましたが、軽音ライブやカラオケ大会が行われ、新校舎を取り巻く大歓声が響き渡る中、本館内でもお化け屋敷やオープンピアッツァなど、子どもたちが楽しめる企画が多数用意されました。さらに短期大学部恒例企画のブライダルファッションショーでは、友人や家族が大勢つめかけ、大きな賑わいを見せる中、憧れのウェディングドレスをまとう女子学生からも笑顔が溢れていました。

ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



★ サッカー部 全国3位の大快挙!

16年ぶり4度目の全国大会「インディペンデンスリーグ2012」に北信越代表校として出場し、創部以来初の「全国第3位」のタイトルを手に入れました! 富士山を一望できる試合場で34人の選手たちが星稜魂を奮い立たせ、大快挙を成し遂げてくれました。

サッカー部のみなさんおめでとうございます!



★ 第一回就職合宿実施!

大学3年次を対象とした第一回就職対策合宿。今年参加者は約150名。例年よりも約30名多く参加した合宿となりました。

今回はここ数年急増しているグループディスカッション(GD)選考対策を行いました。グループで論理的に話し合いその結果を人前で発表し

たり、採用担当者が評価するポイントを確認しました。1泊2日集中して仲間と学んだ(GD)対策、実際の選考や社会に出てからも大いに役立つものとなつてほしいです。



★ 履歴書写真撮影会実施!

大学3年次を対象に履歴書用写真撮影会を開催しました。書類選考の一



つになる履歴書の写真が印象の良いものとするため、プロのヘアメイクさんとカメラマンさんにお越し頂き、きちんとした身だしなみを整え撮影しました。学生達はカメラの前では緊張しながらも爽やかで若者らしい笑顔を見せ、社会人の第一歩を踏み出すかのようでした。実際の就活でも撮影会で整えた容姿で臨めば、好印象間違いなしです!



★ ニューヨーク国連本部へ

学生を国連本部に派遣し、国連を取り巻く世界情勢等について講義を受ける「いわくわ国連スタディビジット! プログラム」に本学の藤田寿乃さん(経済学部2年次)が選出されました。来年の2月11日から約2週間、ニューヨークでの研修に参加します。将来は国際関係の公務員を志願している藤田さん。世界最大の政府機関をじっくり見てきてください。



★大★ 総合・国内旅行業務 取扱管理者試験に本学 から総勢12名が合格!!

11月17日(土)に国内旅行業務取扱管理者試験・総合旅行業務取扱管理者試験の合格発表があり、大学・短期大学部から国内旅行業務取扱管理者試験に10名、総合旅行業務取扱管理者試験に2名が合格されました。

この試験は旅行業法に定められている旅行業者及び旅行業者代理業者の営業所における顧客との旅行取引の責任者となるための国家試験であり、前者は国内のみ、後者は国内・海外両方が対象となります。

双方の試験の合格率は、共に30%代と厳しく、資格取得にける学生たちの熱意が生んだ結果であることは言うまでもありません。

みなさん本
当におめでとう
ございます。



短期大学の
合格者の北川さん



大学生の合格者のみなさん

■国内旅行業務取扱管理者試験合格者

経営学科3年次	栗原 志帆
経営学科3年次	土居 弘幸
経済学科2年次	中山 梨沙
経済学科2年次	田村 沙姫
経済学科2年次	荒木 珠生
経済学科2年次	福富 玲央名
経営学科2年次	川端 菜々
経営学科2年次	大方 詩菜
経営学科2年次	前本 貴央
短大部 経営実務科2年次	北川 恭子
■総合旅行業務取扱管理者試験合格者	
経営学科3年次	辻 真莉那
経営学科3年次	福田 宙

【合格者コメント】

経営学科2年次 前本 貴央
将来は旅行に関係する仕事がしたいとずっと考えていました。高校時代から観光系の勉強ができる大学を探していて、金沢星稜大学の経営学科なら自分の夢を実現できると思い、入学を決めました。

1年生の前期から今までの試験の勉強は欠かしたことはなかったですし、試験の1か月前は夏休み中ではありましたが、大学に来て朝から晩まで勉強していました。だからこそ、合格を知った時は本当にうれしかったですね。

今回の努力を忘れず、次のステップである来年度受験予定の総合旅行業務取扱管理者試験も合格を目指して頑張ります。

★中★ 決勝は学生VS先生!!

11月5日に行われた「金沢市空手道選手権大会男子形の部決勝」の組

み合わせがなんと、張田一輝(経済学部4年次)VSマツダ・デビッド先生(星稜中学校 英語担当)といった星稜同士の対決になりました。結果は張田一輝さんに軍配が上がり、学生の勝利に終わりました。

お互いの存在に気づいていた二人、決勝で合うことに驚いていたようです。これからも美しい形と技を極めてください。



★ 全国大会出場!

□ソフトテニス部

第67回全日本ソフトテニス選手権大会
ベスト64【成年女子ダブルス】
丸谷 幸代(人間科学部4年)



★ 星短西キャンパス メモリアルパーティー

10月10日(水)、前期まで使用していた旧キャンパス(御所町西一番地)にてお別れパーティーを開きました。サックスのミニコンサート、ポロシャツへ寄せ書き、キャンドルアップなどが催されました。中庭の芝生にキャンドルの炎で「See You」の大きな文字が浮かび上がった時には歓声が上がりました。当日は、現役学生だけでなく沢山の卒業生や教職員も駆けつけ、みんなで思い出の詰まったキャンパスに別れを告げました。



★ エレガントに 秋の庭園でお茶席体験

11月19日(月)、「エレガンスアップ」(担当:山川広美講師)の講義で、兼六



★ ひがし茶屋街を 英語でご案内

11月8日(木)、辻建一ゼミナールのメンバーは金沢大学のイギリス人留学生のマットさんとオットーさんを、ひがし茶屋街に案内しました。事前に英文観光ガイドやネット上の英文などを参考にまとめた英語表現で、藩政期の



園のお茶室「時雨亭」にてお茶席を体験してマナーを学びました。「お茶は小学校の6年間習っていました」母と時雨亭に来たことがあります」という経験者も、人生初のお茶席に緊張気味の初心者も、丁寧に所作を教えたばかり、秋晴れに紅葉が映える兼六園でお茶席を堪能しました。伝統文化の街金沢に暮らす女性らしく、しつとりと優雅に少し大人気分のひと時でした。



お茶屋が保存されている「志摩」と「懷華樓」の他、七福地蔵、金箔店といったひがし茶屋街の名所を、留学生たちと一緒に三味線にもトライ。最後に「説明しながら見学し、「福嶋三弦店」では一緒に三味線にもトライ。最後に「ビストロ」とどろき亭」オーナーの木村巧一氏からひがし茶屋街界隈の活性化策や茶屋街に店を構えて経営してきた経験についてお話をうかがいました。学生たちは、ひがし茶屋街についての見聞を広めるとともに、その魅力について日本語と英語の両方で発信する能力を磨くことができました。



★ 就職、結婚、暮らしと 税の関係を学ぶ 金沢税務署長講演

11月9日(金)、国税庁の「税を考える週間」に合わせて、金沢税務署長の浦畑勉氏による講演会(テーマ「私達の暮らしと税金」)が行われました。まず基礎編として税の役割や税制の現

状、税務署の仕事について話され、続いて応用編として、就職から結婚、相続にいたるまで人生の節目にどういった税金が関わってくるか、具体例を用いてお話しいただきました。最後にこ



★ クリスマスまでに 内定決めよう! 大作戦!

2年生の未内定者を対象に11月中旬から12月上旬にかけて全8回の就職セミナーを開催中です。内容は実践形式の面接対策を中心に自己分析や自己PRを見直すというもの。少人数で個別のきめ細かい指導を行っています。



★ 高 運動会

9月25日(火)、第51回運動会が稲置学園総合運動場で開催されました。学年別クラス対抗で、17人で縄跳びを行う「みんなでジャンプ」、全員が参加できる「クラス全員手つなぎ横一列走」、学校一の俊足を決める「100m」クラス対抗リレー」など、さまざまな競技が行われました。大勢の先生方も運動会に参加し、アットホームな雰囲気



★ 高 1、2年生 総合学習(進路研究)

10月22日(月)、1年生が大学見学会に参加、2年生が大学講師による模擬講義の授業という総合学習(進路研究)が行われました。1年生は、各クラスに分かれ北陸三県内の国公立・私立大学を見学し、大学の概要や研究活動などを学びました。2年生は、本校にて各専門分野における大学講師24名

による模擬講義を選択し授業を受けました。大学の進学意欲と関心を高め、将来の進路を考えた一日でした。



★ 高 ちよっといい話

10月下旬の北國新聞朝刊の「時鳴り」欄に、『駅でゴミ拾った生徒の姿に感動』という表題の投書が掲載されていました。東金沢駅構内で、ほとんどの通行人が見て見ぬふりする状況の中、本校の女子バレーボール部の生徒が、強風で散らばったゴミをすかさず拾ってゴミ箱に片付けた、その姿にとても感動しました、という50歳男性のお話です。皆さんも、まわりの人が見て見ぬふりしている、このような状況におかれた経験があるのではないのでしょうか? 皆さんならどう考え、どう行動しますか?

★ 高 全国大会出場決定!

サッカー部が第91回全国高校サッカー選手権県大会で、連続23度目の優勝を遂げ、14連覇を成し遂げました。延長戦の末、得点を挙げた井田遼平さ

ん(3年)はMVPに選ばれました。また、女子陸上部が第24回全国高等学校女子駅伝競走選手権大会石川県予選会で2年連続6度目の優勝を果たしました。なお、全国大会はサッカーが1月2日(水)に松山工(愛媛)と二回戦を対戦し、駅伝は12月23日(日)に行われます。昨年よりも上位を目指して頑張れ!!



★ 中高 いしかわ教育の日 本校の先生が優秀教員表彰!

石川県では、教育の充実・発展のため、毎年11月1日を「いしかわ教育の日」、11月1日から7日までを「いしかわ教育ウィーク」と定めています。本校では11月1日(木)〜6日(火)の3、4日を除く期間、保護者を対象とした授業公開・学校公開を行いました。また、11月1日(木)、優秀教員として高校の鍋谷正二先生が石川県より表彰されました。

★交通安全モデル校

自転車利用時に全生徒が反射タスキを着用する「交通安全モデル校」として本校が指定され、10月16日(火)、金沢東警察署と金沢東交通安全協会より委嘱式が行われました。下校時の自転車利用中の交通事故発生を減らすため、本校が他校の模範となり、夜間交通事故防止を実践することとなりました。生徒を代表し、生徒会長の朝生玲央さん(3年)に委嘱状と反射タスキ二百本が手渡されました。



★思い出の修学旅行

9月26日(水)～9月28日(金)、2年生が東京方面へ2泊3日の修学旅行へ行ってきました。1日目はフジテレビ本社の見学と東京ディズニーシーを楽しみました。2日目は国会議事堂の見学に続き、そなエリア東京で防災を体験、その後東京スカイツリーを見学しました。そして最終日は鎌倉の鶴岡八幡宮を参拝しました。日本の首都の空気を存分に味わい、集合の時間・場所を遵守し、協調性を学びました。

★野外スポーツ体験!

9月27日(木)・28日(金)、1年生と3年生が国立能登青少年交流の家へ宿泊研修に行ってきました。昼はカヌーやサイクリング、ディスクゴルフ、カッターなどの野外活動の中から希望のプログラムを選択し、夜はナイトアドベンチャーを体験しました。自然の壮大さ・豊かさを体感しながらスポーツを満喫し、集団生活の規律を学んだ研修でした。



★運動会

10月24日(水)、第40回運動会が稲置学園総合運動場にて開催されました。学年・クラスを混ぜた赤団・青団・黄団の3チーム対抗で、数々の種目を競いました。応援も得点に結び付き、手作りの団旗やペインティングなど各団で工夫を凝らしました。青い空と青いトラックが眩しい中、3学年が一致団結して競技に打ち込みました。



★総合学習発表会

11月17日(土)、毎年恒例の行事となりました11回目の総合学習発表会が稲置講堂で行われました。4月に各クラスで課題を決め、半年間全員が協力しじっくり時間をかけて一つにまとめま



した。当日は、卒業記念文集づくりを課題とする3年生を除いた1、2年生が研究発表や劇を催しました。クラスの個性がそれぞれに輝いていました。

★10月からの主な部活動成績

星稜高等学校

第67回国民体育大会陸上競技

・少年女子B 200m

・第3位 秋田 理沙

第6回日本ユース陸上競技選手権大会

・男子走幅跳・第6位 清水 奨太

・女子走幅跳・第3位 豊野 美古都

第67回国民体育大会レスリング競技

・少年男子フリースタイル60kg級

・第5位 中村 優太

第40回西日本トランポリン競技選手権大会

・高校生女子・優勝 佐竹 玲奈

北信越高等学校新人陸上競技大会

・男子5000m・第4位 福田 裕大

・男子4000m・第8位 林 力也

・男子5000m・第7位 森川 大地

・女子800m・第7位 高田 実幸

平成24年度北信越高等学校体育大会

第25回北信越高等学校女子駅伝競走大会

・女子団体・第2位

第127回北信越地区高等学校野球

石川県大会

・優勝

第7回秋季高等学校

女子サッカー北信越大会

・第3位

第35回全国選抜高校テニス大会

北信越地区大会

・女子団体の部・第3位

平成24年度全国高等学校選抜レスリング

北信越大会

・60kg級・優勝 中村 優太

・第3位 喜多 亮介

第91回全国高等学校サッカー選手権大会

石川県大会

・優勝

・最優秀選手 井田 遼平

・ベストイレブンMF 井田 遼平

・ベストイレブンDF 植田 裕史

・ベストイレブンDF 掃部 智寛

・ベストイレブンGK 舟橋 侑輝

・新人王 置田 竣也

・得点王 平田 健人

・今井 深太

平成24年度石川県高等学校総合体育大会

第76回石川県駅伝競走選手権大会兼

第63回全国高等学校駅伝競走選手権

大会石川県予選

・男子団体・第2位

・女子団体・優勝

・女子区間 第1区6・0 km

・優勝 廣瀬 亜美

・女子区間 第3区3・0 km

・優勝 高野 みちる

・女子区間 第4区3・0 km

・優勝 井久保 緩奈

平成24年度石川県高等学校

後期新人体育大会

□トランポリン競技

・Aクラス男子・優勝 谷口 遼平

・Aクラス女子・第2位 村上 碧

□サッカー競技

・優勝

□女子サッカー競技

・優勝

□ソフトボール競技

・男子の部・第2位

□バレーボール競技

・女子・第2位

□剣道競技

・男子団体・第2位

・女子団体・第2位

・女子個人・優勝 森田 紗世

□体操競技

・男子団体総合・優勝

・男子個人総合・優勝 高田 満古

・女子個人総合・第2位 上田 聖菜

第32回石川県高校囲碁秋季大会

・女子団体戦・優勝

・森田 智子

寺井 知奈美

飛鳥井 麻結

飛鳥井 麻結

・個人戦Cリーグ・第2位



☆表現あそびの会☆

11月21日(水)・11月22日(木)の2日間、表現遊びの会が行なわれました。毎年、たくさんの保護者の方々がお子様の姿を見に来られます。両日共、稲置学園総合運動場と幼稚園の間を、シャトルバス3台による送迎も行なっています。

プレイルームの舞台では各クラスの劇遊びや、歌・楽器遊びが続きます。動物や忍者など、



それぞれの衣装を身に付け、元気いっぱい登場する子、ちょっぴりはずかしそうに話す子。一人一人色々な表現を見せてくれました。クラスの友達と力を合わせて作った大道員や、アイデアいっぱいの子道員もまた、見所のひとつです。

プログラムの最後は、全員で「ドレミのうた」を歌いました。子どもたちの澄んだ歌声が、会場いっぱい響きわたり、大きな拍手に包まれました。



☆あそび！スマイルキッズ 第5回 2歳編☆

金沢星稜大学の北川節子先生が「こどもの健康と病気」についてお話して下さいました。こどもがかかりやすい病気の対処法などを熱心に聞いていました。その間、こどもたちは教師と一緒に「おままごと」やブロックあそびを楽しみ、ゆったりとした時間を過ごしました。



☆親子でリトミック(年少組・いち組)☆

金沢星稜大学の高垣展代先生と一緒に体を動かして楽しみました。こどもがお散歩をして、ピアノの曲が止まると急いでおうちの人のところに戻りぎゅっとくっついていたり、汽車になってフープのトンネルをくぐったりしました。親子で一緒に楽しむあたたかい時間になりました。



☆もうすぐ表現あそびの会☆

友だちと歌ったり劇ごっこを楽しんでいます。一緒に歌うとなんだか手をつなぎたくなるね。おはなしに出てくるクラスもお外あそびに誘うよ。



「Amitié Seiryō」は、フランス語で「星稜の友情」。
今回は、星稜高校 風間先生の特別寄稿を掲載します。

誠実と真理を求めめる校風 「建学の精神」「校歌の精神」と 「改正教育基本法」そして「応援歌」

風間 幹栄

《誠実(建学の精神)》

私立学校には、それぞれ独自の建学の精神があります。稲置学園の建学の精神は、「誠実にして社会に役立つ人間の育成」であります。この誠実をどのように具現化していくかは人によって解釈が異なることです。一般的には、偽りがなく、まじめなこと。真心が感じられるさまをいいます(広辞苑)。この「真心」をどのように育成していけばよいのでしょうか。思いやり・他人をいたわる心など、社会生活に必要な規範的意識を持つための基本と考えます。「校歌」には、その真心を育成するための言葉が表現されていると私は考えます。

《真理(校歌の精神)》

校歌には、一番・二番・三番があります。その共通の言葉が「真理」であります。
一番は、自然・風土・歴史の融合で表現されています。白山信仰とも繋がる伝統ある土地で学ぶ「真理」の道すなわち真心を大切に人への行うべき正しい道(広辞苑)を学び求めてこそ、希望や夢が実現するというものです。

二番は、宗教的情操教育の大切さが表現されています。迷いからさめ、真理を会得した境地に達する姿こそ「さとしの姿」であり、平和は真理を求めてこそ得られるものとしています。

三番は、この星稜で育成された「誇り」を大切にしようとする思いが込められています。この

地域にあって、誠実を具現化する「三稜の星章」すなわち徳・体の基本方針をもとに、真理の道を追求してこそ、星稜高校生としての「誇り」が持てるのです。勉学はその手段であり、使命や責任を養って真理を追求することが、生徒の務めだとしています。(ホームページの校歌を参照)以上のことからして、建学の精神である「誠実にして社会に役立つ人間の育成」のためには、真理の追求が多いに臨まれるのです。

《改正教育基本法》

さて、平成十八年に改正された教育基本法にも「真理」の大切さが記載されています。その全文には、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求するとしています。また2条の一には、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うと記載され、さらに15条に、宗教に関する寛容の態度、宗教に関する一般的な教養及び宗教の社会生活における地位は、教育上尊重されなければならないとしています。

建学の精神・校歌とこの教育基本法には、「真理」という共通した理念が貫かれていることに驚いている次第です。この真理を宗教のなかでも求めているのが「悟り」です。豊かな情操と道徳心を培う心が表現されています。作詞を手掛けた藤田福夫氏の熱き思いが伝わっています。教育基本法の改正された点の大きな特徴として、「伝統や文化の尊重」「我が国と郷土を愛する態度を養う」ことがあります。学舎のある地域の自然や歴史・文化のなかで先輩から後輩に託される育んだ「誇り」を持つことこそ、学校を愛する気持ちすなわち愛校心に繋がると考えればよいのではないのでしょうか。こうした味わい深い校歌が、公の厳粛な場での歌となるのです。「真理を学ぶ力」を身に付けることが、今教育に求められているのです。

《応援歌(生徒自身の活力)》

さらに、この愛校心をより一層育むためには、気力溢れる元気な応援歌が必要になってきます。初代校長の松田覚神先生が作詞された応援歌は、まさに星稜を代表して出場する生徒に気力・元気を与えるものです。星稜全体が一九となつて団結する勇姿をみることでできるのです。譜面がない応援歌に、再び魂を注ぎ込むために編曲を卒業生にお願いしました。この作成された譜面によって、今後さらに演奏されつつ受け継がれていくことと確信します。また卒業してから人生の自己啓発の応援歌として、母校の誇りを旨に唱われていくことを期待します。(譜面を次に掲げました)

※応援歌は星稜高等学校の生徒手帳にも掲載されています。

ナオトの力タオミ

災害時や事件・事故発生時における こどもの心のケア ～こころだつてケガをすることがある～

臨床心理士 寺井文平 石川県こころの健康センター(囑託)

「つらい体験」からの回復には適切な対応が不可欠

こどもが自分や他人の生命に関わるような衝撃的な出来事を体験したり目撃した直後には、心と身体にさまざまな反応や症状が表れることがあります。これらは「ごく自然な反応や症状」であり、その多くは一時的なものです。しかし、その出来事がありにもつらい場合や適切な対応を受けていない場合には、反応が長引いたり症状をこじらせてしまったりすることがあります。では、こどもの心が「ケガ」をしてしまった際の、適切な対応とはどのようなものなのでしょうか。

きめ細かい観察と会話で、こどものSOSをキャッチ

「つらい体験を思い出させるのはかわいそう」という理由で、周囲の大人がケアを断ったり、開始を遅らせてしまうことがあります。たとえば、目に見える症状が少なく元気なように見えたら、「このままそっとしておこう」と思われるかもしれません。しかし、実のところこどもは多様な身体症状を抱えていて、それを言語化できずに苦しんでいることも多いのです。また、傷ついたこどもとどう接していいかわからないため、「そっとしておく」という優しい言葉にすり替えた、無目覚な「関与しない態度」も起きがちです。

こどものSOSは、わずかな身体症状や心身の不調として表れます。きめ細かい観察や会話で、そのサインを見逃さないようにしましょう。

「話したければいつでも聞くよ」の姿勢を大切に

「つらい体験について話す」というのは、傷ついた心の回復に役立つ行動です。ただし、「本人が自ら話そうとしている」

ことが条件です。こどもが話し始めたからといって、いたずらに根掘り葉掘り聞き出すのは大きな誤りです。あくまで、こどもが話したいときに、話したいだけ聞いてあげるようにしましょう。また、つらい体験について尋ねるときには、次のことに注意するようにしましょう。

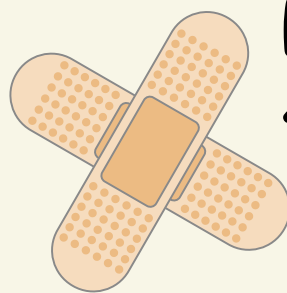
- 可能な限りプライバシーの保たれた場所で聞く
- こどもの場合は、安心できる大人の同席を考慮する
- 途中で「このまま話を続けて大丈夫？」と確認する
- 今後、何度も同じ質問に答えずに済むように工夫する

話すことは、心の整理をしていくことにつながります。また、こどもが話したいと思ったことに周囲の大人が耳を傾ける姿勢から、こどもは「心配してくれている。大切にされている」と、安心できる環境だと感じるができます。「話したくなったらいつでも聞くからね」という姿勢を持ち、またちゃんとその気持ちを伝えてあげましょう。

こどもの健康な力を信頼しましょう

こどもを守るのは大人の役目です。しかし、こどもは一方的に守ってもらうだけの弱い存在ではなく、自ら回復し立ち直る力を持っています。そんなこどもたちと向きあう大人の役割は、「こどもが立ち直るために必要な環境を整えてあげること」であると理解して、こどもたちの心を見守ってあげてください。

同時に、こどもたちと向きあう大人の心にも、大きな負担がかかっている場合もあります。こどもを支援する側の大人が倒れてしまったのでは、誰がこどもを守るのでしょうか。大人たちも、自分自身や仲間のメンタルヘルスに目を向けるようにしてください。



もちろん、必要な時には専門家の助けを求めることも重要です。以下に具体的な例を挙げますので、このような場合には専門家へ相談するようにしてください。

- 感情や身体感覚がどうしても抑えられない時。
- 緊張感・混乱・空虚感・消耗感が続く時。
- 何も感じない状態が1ヶ月以上続く、あるいは感じないままでいようと忙しくしている時。
- 悪夢を見たり、よく眠れない夜が続く時。
- 気持ちを打ち明ける、打ち明けたい相手がいない時。
- 人間関係に支障がある時。
- 事故を起こした時。
- 酒類の飲み過ぎ、たばこの吸いすぎが続く時。(大人の場合)
- 仕事や勉強に身が入らなくなった時。

専門機関へのお問い合わせ

石川県こころの健康センター

TEL: 076-2338-5761 FAX: 076-2338-5762
メールアドレス: seichin@pref.kanag.jp
〒920-8201 石川県金沢市鞍月東2丁目6番地

【地域の保健所】

県保健所は週1回、こころの健康相談を実施しています。担当は精神科医です。

石川県石川中央保健センター 保健部

健康推進課 白山市馬場2丁目7番地
TEL: 076-275-2250
河北地域センター 河北郡津幡町中橋口1番1
TEL: 076-289-2177

総合研究所・ 地域連携センター だより

総合研究所

「星稜の学術・研究最前線」が
はじまりました。
大学教員の学術・研究活動にふれてみませんか。

総合研究所では、大学1年生を対象に大学における学術や研究とはどのようなものか、また、その活動の実際や楽しみ、苦労などを伝える課題演習「星稜の学術・研究最前線」を9月から開講しました。

この課題演習は、本学の経済学部、人間科学部の教員14名がリレー形式で講義を進めます。教員が取り組んできた学術・研究活動を直に聞くことで、学生の研究への気付きを促すとともに研究に対する意識を高め、今後の学生生活に役立てるものです。

この課題演習は、学生、教職員のほか一般の方も聴講できますので、皆様是非足をお運びください。



■開催時間：16:10～17:40（各回とも）
■会場：金沢星稜大学本館1階 A11教室

平成25年1月9日（水）以降の 開催内容

- 第12回 1月9日（水）
新自由主義経済における経済現象
経済学部教授 原 耕平
- 第13回 1月16日（月）
社会と企業の国際化で税金はどうなる？
－国際課税の基礎知識－
経済学部教授 中村雅秀
- 第14回 1月23日（水）
地域づくりの原点を探る
経済学部特任教授 澤 信俊
- 第15回 1月30日（水）
学問と方法
経済学部教授 宮崎正史

〈本件に関するお問い合わせ〉

金沢星稜大学総合研究所
TEL 076-253-3984
E-mail seiryu-research@seiryu-u.ac.jp

■大学間連携共同教育推進事業

「学都いしかわ・

問題解決型グローバル

人材育成システムの構築」への参加

金沢星稜大学と金沢星稜大学女子短期大学部は、石川県内の全高等教育機関と県内全自治体・主要企業団体が加盟する大学コンソーシアム石川の枠組みを使い、加盟機関、団体等が協働し、全国に通用する問題解決型グローバル人材を育成する継続的システムの構築を目指す。大学間連携共同教育推進事業「学都いしかわ・問題解決型グローバル人材育成システムの構築」に参加します。

この事業は平成24年度から平成28年度の5年間にわたり実施され、金沢星稜大学は事業を推進する5グループのうちの地域連携グループの拠点校として、事業を牽引していきます。

地域連携センター

大学生が
ボラ待ち櫓漁の
復活に貢献

金沢星稜大学は、穴水町の漁業グループ「中居七浦七人会」と協力し、10月に同町中居沖でボラ待ち櫓漁を16年ぶりに復活させました。当日は地元住民や穴水中学校、穴水高校の生徒、向洋小学校の児童が、地元の伝統漁法を見守りました。

この復活漁に向けて、学生は地元の漁業グループの人たちとともに、木の切り出しからボラ待ち櫓の製作、海上への設置などの準備を進めました。

これを機に、さらに地域との結びつきを強め、地域の活性化に貢献していくことが期待されます。



伝統漁法を体験。



ボラ料理も堪能しました。



地元の漁師の方々と櫓を設置。

金沢星稜大学CDP 2012年度最終合格状況 (2012年12月11日現在) ※最終合格者は延べ人数

■公務員コース

行政職	最終合格者数
国家一般職	2名
国税専門官	3名
白山市役所	2名
かほく市役所	1名
宝達志水町役場	1名
七尾市役所	2名
氷見市役所	1名
南砺市役所	1名
計	13名

公安職	最終合格者数
石川県警 (男性)	3名
石川県警 (女性)	1名
富山県警 (男性)	2名
福井県警 (男性)	1名
大阪府警 (女性)	1名
津幡町消防	1名
白山野々市広域消防	1名
小松市消防	1名
刑務官 (男性)	1名
自衛隊一般曹候補生	1名
自衛官候補生	1名
計	14名

■教員コース

教員採用候補者選考試験	最終合格者数
石川県公立小学校教員	4名 (2名)
富山県公立小学校教員	2名 (1名)
千葉県公立小学校教員	3名
広島県公立小学校教員	1名
石川県公立中高保健体育教員	1名 (1名)
計	10名 (3名)

※最終合格者数の()は内数で卒業生

■税理士コース

税理士科目名	合格者数
簿記論	1名

※CDP (キャリア・ディベロップメント・プログラム) とは

独学では合格困難な試験の合格を目指すプログラム。公務員採用試験、税理士試験、教員採用試験 (小学校・中高保健体育) の受験対策に特化した大学独自のプログラムです。大学に入学した1年生から、受験時期まで受験に必要な学習はもちろんのこと、日頃の質問対応や面接対策などトータルサポートを行っています。

CDPの管理、運営は、星稜エクステンションセンター (キャリアデザイン館3階) が行っています。

星稜エクステンションセンターより

2012年度 (平成24年度)、見事合格を勝ち取った皆さん、合格おめでとうございます。

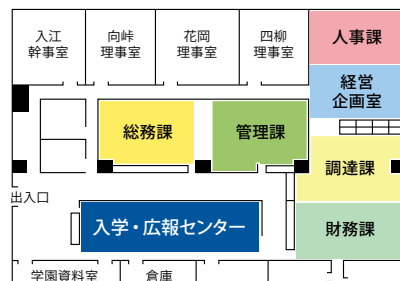
年々厳しくなる採用環境にも負けず、4年間を日々努力した成果だと思います。どの試験ももっとも難しい事は「続けること。」4年間の長い学生生活の中で、時には成績が伸びず諦めなくなる時、投げ出したくなる時、泣きなくなる時等様々な困難があったと思いますが、それを乗り越え、自分の夢や目標に向かってただ直向きに続けた結果だと思います。

これから皆さんは、社会人として、職業人としての本番を迎えます。社会で大きく活躍することを願っております。

星稜エクステンションセンター課長 友部 充洋

法人事務局移転のお知らせ

教員研究室の増設に伴い、法人事務局が本館の2階から1階 (旧大学事務局フロア) に移転しました。



サエラ27号に関するアンケートへのご協力をお願い

毎号の内容に関する皆様からのご意見を「WEBアンケートフォーム」を通じて頂戴し、本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方、先着100名様に図書カード (500円分) をプレゼントいたします。右記ウェブサイトから、アンケートへの回答をお願いいたします。

先着100名様に
図書カードをプレゼント!

<http://www.seiryō.jp/>

行事スケジュール（平成25年1月～3月）

金沢星稜大学

1	8日(火)	授業再開
	15日(火)	月曜代替講義日
	12日(土)・13日(日)	第3回就職合宿(A日程)
	18日(金)・31日(木)	休講日
	25日(金)・26日(土)	第3回就職合宿(B日程)
2	2日(土)	英語成果テスト(1年次)
	4日(月)～8日(金)	試験期間
	9日(土)～11日(月)	学内合同会社説明会
	10日(日)	保護者向け就職ガイダンス*
	12日(火)	基礎ゼミナールⅡ発表会・人間科学部卒業研究発表会
	13日(水)	専門ゼミナールⅠ発表会
	14日(木)・15日(金)	追試験期間
	16日(土)～20日(水)	学内合同会社説明会
3	25日(月)	成績発表日
	27日(水)～28日(木)	再試験期間
	7日(木)	卒業認定発表日
	19日(火)	学位記授与式
	20日(水)～22日(金)	学内合同会社説明会
	22日(金)	入学前学力試験(toeic-b、SPI)
	23日(土)	保護者懇談会
	26日(火)～27日(水)	人間科学部研修(現2年次対象)

金沢星稜大学女子短期大学部

1	5日(土)～7日(月)	スキー・スノーボード研修
	8日(火)	授業再開
	15日(火)	月曜代替講義日
	18日(金)・31日(木)	休講日
	26日(土)	第5回短生のための合同企業説明会
2	4日(月)～8日(金)	試験期間
	12日(火)	ゼミ発表会
	15日(金)	マナーコンテスト
	18日(月)～25日(月)	オーストラリア海外研修
	27日(水)・28日(木)	追再試験期間
	2日(土)	保護者向け就職ガイダンス
3	8日(金)	卒業認定発表日
	15日(金)	卒業式・学位記授与式

星稜高等学校

1	8日(火)	始業式
	8日(火)・9日(水)	センター直前演習
	12日(土)	推薦入試
	16日(水)	推薦入試合格発表
	17日(木)	大学入試センター試験受験者激励会
	18日(金)	大学入試センター試験受験者下見
	19日(土)・20日(日)	大学入試センター試験
	21日(月)	大学入試センター試験自己採点
	31日(木)	3年最終登校日
2	1日(金)	一次入試
	4日(月)・5日(火)	校内実力試験(1,2年)
	7日(木)	一次入試合格発表
	13日(水)～15日(金)	2年Pコーススノーボード実習(梅池)
	16日(土)	推薦専願合格者説明会
	28日(木)	同窓会入会式、卒業式予行
3	1日(金)	卒業式
	4日(月)～8日(金)	学年末試験
	11日(月)	追試
	13日(木)	新2年教科書販売
	14日(水)	新3年教科書販売
	16日(土)	生徒対象講演会(1,2年)
	19日(火)	終業式
	20日(水・初)	入学説明会
	21日(木)	二次入試
	22日(金)	二次入試合格発表・入学説明会
	30日(土)	再受験者説明会

星稜中学校

1	8日(火)	始業式
2	9日(土)	入学試験
	12日(火)	合格発表
	14日(木)	スキー教室(一里野)
	23日(土)	入学説明会
	26日(火)～28日(木)	学年末試験
3	7日(木)	卒業式予行
	8日(金)	卒業式
	19日(火)	終業式

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

1	8日(火)	3学期始業式
	15日(火)	21世紀美術館見学(年長)
	19日(土)	同窓会
	21日(月)	とらいランド(年中)
	22日(火)	ABCランド(年中)
	24日(木)	誕生会
	30日(水)	星稜子育てステーション
2	1日(金)	豆まき会
	4日(月)	参観日(りす)
	5日(火)	ABCランド(年中)・避難訓練
	6日(水)	参観日(うさぎ)
	7日(木)	参観日(きりん)
	8日(金)	参観日(ばら)
	13日(水)	参観日(ゆり)
	14日(木)	参観日(すみれ)
	15日(金)	参観日(ばんだ)
	16日(土)	希望個人懇談会(年少・年中)
3	20日(水)	星稜子育てステーション
	21日(木)	誕生会
	25日(月)	とらいランド(年中)
	26日(火)	ABCランド(年中)
	1日(金)	ひなまつり会・誕生会
	7日(木)	おわかれ会(予定)
	13日(水)	卒園式
	18日(月)	とらいランド(年中)
	19日(火)	3学期終業式

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

1	8日(火)	3学期始業式
	10日(木)	金沢21世紀美術館(年長組)
	11日(金)	子ども相談
	15日(火)	ABCランド参観(年長組)
	17日(木)	にこにこ参観・クラス懇親会(いちご組)
	21日(月)	にこにこ参観・クラス懇親会(りす組)
	22日(火)	にこにこ参観・クラス懇親会(ばら組)
	24日(木)	にこにこ参観・クラス懇親会(うさぎ組)
	25日(金)	にこにこ参観・クラス懇親会(すみれ組)
	31日(木)	誕生会参観
2	1日(金)	豆まき会
	2日(土)	入園説明会
	6日(水)	避難訓練
	15日(金)	子ども相談
	16日(土)	個人懇談会
	21日(木)	誕生会参観
3	1日(金)	誕生会参観・ひなまつり会
	2日(土)	親子工作教室(年長組)
	6日(水)	お別れ参観(年長組)
	7日(木)	年長組を送る会
	8日(金)	子ども相談
	13日(水)	卒園式
	22日(金)	終業式

*前号の「親業」支援コラムにて掲載させていただきました保護者向け就職ガイダンスは2月17日(日)から2月10日(日)に変更となりました。

あとがき

星短の後期は新キャンパスに移転し変化とともに始まりました。学生たちは嬉しさ半分、なれない環境に戸惑い半分でしたが、今では自分たちのペースをつかんで楽しそうです。
10月、星短生にとって初めての大学との合同学園祭を催しました。大学生と一緒に実行委員会では、「ここは譲れない」「従ってもらう」といった意見の対立や衝突ばかり。でも考え方の違いを乗り越えなければゴールがないことを実感できたといいます。結果、流星祭は大成功、大学生の友達も増えたとのこと。組織としてまとまることや、お互いの違いと良さを理解することを学んだようです。
大きな変化に順応し成長する学生たちが頼もしく、また星短が新キャンパスでいいスタートを切れたことに感謝しています。

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部 教務課 廿日岩曉子



学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町丑10-1
TEL076-253-3924 (代表)
<http://www.seiryo.jp>

星稜高等学校

石川県金沢市小坂町南206
TEL076-252-2237 (代表)
<http://www.seiryo-hs.jp>

星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206
TEL076-252-5057 (代表)
<http://www.seiryo-hs.jp>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27
TEL076-252-5057 (代表)
<http://kinder.seiryo.jp/seiryo/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6-17-30
TEL076-244-5636 (代表)
<http://kinder.seiryo.jp/izumino/>